



令和3年度
伊達市成人式

令和4年1月9日

祝 成人

保原小学校講堂にて

市民・子どもらで賑わう 10月30日(日)

第12回ほばら100円商店街が開催され、射的、お楽しみくじ引き、焼きいも、大根販売の4コーナーを出店。準備・運営に協力された当振興会役員に感謝します。



今年度を振り返って

理事長 佐藤貞夫

コロナ禍は、人々の笑う機会も減少させ、あらゆる活動が制約される中で年度末を迎える。

特に心が痛むのは、色々我慢を強いられている子ども達のことを思うと歯痒さを感じる。不安に駆られている子どもの未来を案じつつ健やかな成長を社会全体で支える重要性を改めて考え、今社会問題となってい

美味しい蕎麦打ち体験 11月28日(日)

渡辺勝則講師から、十割蕎麦の打ち方、ゆで方を習いました。作ったそばは、家に持ち帰り食べました。



る子どもの虐待や自殺や貧困問題等の深刻化である。

その現状を思うと、心と心が通い合う子ども達の笑顔あふれる社会の実現を切に願うばかりである。

その一助として、地域の子ども達の居場所を提供する「子ども食堂」等の役割と必要性が感じられ、そのニーズも高まっている事は明らかである。私共の事業の一つとして知恵を絞り乍ら工夫を重ねて「総合力」を発揮し、取り組んで参りたい。子どもは社会(地域)の宝である。



小正月のだんごさし 1月14日(金)

保原幼稚園にて、行いました。講師は、遠藤利夫様。由来についてお話を聞き、折り紙の飾りや紅白の団子、鯛や小判をミズキの木に飾りました。



霊山縦走トレッキング 10月31日(木)

綺麗な紅葉に心晴れ

霊山登山口→宝寿台→見下ろし岩→蟻の戸渡り→天狗の相撲場→東物見岩→霊山城跡(昼食)→西物見岩→湧水の里キャンプ場のコース



門松立ててお正月 12月12日(日)

講師は、市教委人材バンクの遠藤利夫様。



しめ縄作りに悪戦苦闘 12月16日(木)



講師は、遠藤利夫様。保原小学校日本文化クラブの皆さんが参加しました。

地域ボランティアの方にも教えていただきました。



犯罪被害にあわないで 11月28日(日)

伊達警察署員による「なりすまし詐欺」の寸劇後、県警地域安全アドバイザー佐藤浩市様より、「犯罪被害にあわないために」の講義があり、大変勉強になりました。



うたごえびく 12月9日(木)

講師は千本松四郎様。リクエスト曲を皆で歌いました。



笑って免疫力UP 12月9日(木)

講師は笑いヨガリーダーの大波ヒロ子様。





(丸山公園での地域貢献活動)

町内会だより 中村第2町内会

当

町内会は、会員相互の信頼と融和、親睦を深め、市政機関との連絡及び福祉関係に協力する目的で活動しています。

会員さんの協力が厚く、助け合い、何事もまとまりやすいことが町内会のよさです。

(小旅行)



思い出に残る最近の活動として、平成30年12月、保原高校商業科の皆さんによる地域貢献活動(丸山公園清掃)があり、町内会からも40名が参加協力しました。終了後、野崎観音で楽しいひと時を過ごし交流を深めました。

ここ2、3年は、コロナの影響で思うように活動が出来ないのが残念です。また、ホテル聚楽への小旅行も楽しかったです。これから町内会発展のため多くの会員に参加してほしいと願っています。

発 足 昭和25年
町内会長 南澤義秋(10代目)
世 帯 数 186世帯

主な町内行事

- 厳島神社の祭礼
- 役員会
- 花見会
- 芋煮会
- 環境美化活動、ごみ収集
- 日帰り小旅行
- 総会

保原コミュニティ

川柳・イラスト展+α

今年こそ「子ども祭り」再開を願っていましたが、感染収束にはならず、二回目の開催となりました。多くの方々のご協力を得て、子ども達と地域をつなぐ心を癒す多くの作品が展示された事に心より感謝いたします。

川柳部門 (応募272句)

川柳大賞

・ さかあがりできたよできたのしいな(小低 S・Hさん)

最優秀賞 ※抜粋

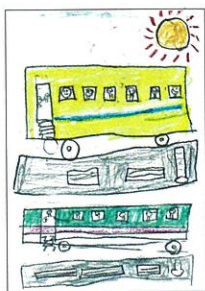
- ・ 美しく紅葉そまる伊達景色 (小高 T・Sさん)
- ・ 秋祭りコロナがないよう願います (小中 M・Aさん)
- ・ おとうさんすごくてつかく力もち (小低 S・Rさん)
- ・ おにいちゃんおこるとこわいだけどすき (小低 O・Sさん)
- ・ 勝ちに行くそれより大切目指す過程 (中学 S・Aさん)
- ・ オリパラの選手に学ぶ我が人生 (一般 S・Tさん)

イラスト部門 (応募99展)



(一般 T・Hさん)

最優秀賞 ※抜粋



(小低 T・Yさん)



(小高 H・Kさん)



(中学 T・Aさん)



(小中 T・Mさん)

※+αの「幸せのピンクハンカチ」にも、多くの皆さんの協力をいただきました。

団体紹介

保原商工会青年部

部長 吉田 亮

青

年部は、昭和36年7月に結成され、私で25代目となり、現在38名の部員で活動しています。

商工会事業を積極的に推進するとともに、部全体の連絡を密にし目的意識を持たせることに努め、資質の向上と組織強化を図りながら、厳しい経営環境を乗り越える後継者としての豊かな人材育成の機関となることを目的としています。



(商工会メンバー)

主な行事として、夏の風物詩であるほばらサマーフェスティバル、町商店街の活性化を目指す「はじめてのおつかいinほら」等があります。

保原町の魅力発信・地域活性化のために企画したイベントで、子どもたちの笑顔を見た時や「今後も楽しいイベントを開いてください」との声を頂いたときは大変うれしく思います。

コロナ禍により今までの開催方法ではイベントが出来ない状況なので、例年通りのやり方に縛られない柔軟な発想を期待しています。

令和4年度も「ほばらサマーフェスティバル」等を開催すべく、部員一丸となって頑張ります。開催の際には、是非ご来場ください。

保原の方言

その12

島田 久也

「コロナとの戦い」

方言

「困ったもんだない。そろそろコロナも終わんだべーと思ってだけんちよ、まだ続くのがい。」

「んだ。今回のオミクロン種はわらし子がらとしよりまで集団感染すつからやつけない。」

「おらげの息子も仕事柄外歩きが多いが、ウイルス貰うごどねえようと、バアちゃんはいつもシンペしているわい。」

「3回目の予防接種が3月にあり感謝だない。早く2〜3年前みでぐ、明るく楽しい日がくつといいない。」

標準語

「困ったものですね。そろそろコロナも終わるのかなと思っていたのですが、続くのですね。」

「そうです。今回のオミクロン種は子どもから年寄りまで集団感染するのでやつかしいですね。」

「私の家の息子も仕事柄外歩きが多いから、ウイルス貰うことがないようにと、バアちゃんはいつも心配していますよ。」

「3回目の予防接種が3月にあり感謝です。早く2〜3年前みたいにい、明るく楽しい日がくるといいですね。」

子ども支援事業を開始します

令和4年4月から、「まちなかサロン(仮称)」が保原中央交流館においてスタートする予定です。毎月第4土曜日には、「子ども食堂」や大学生が宿題をサポートする「学習支援業」を計画しています。

皆さんのお越しをお待ちしております。

編集後記

昨年11月、市政策部協働まちづくり課と意見交換会を開催しました。平成29年に発足した当会の現状や課題を説明した後、話し合いに移りました。

市担当若手職員の誠意と熱意あふれる対応に、幹事長をはじめ三役は感心しきりでした。

広報第14号ができました。

早春を告げる福寿草やふきのとうが芽吹きましたが、コロナ禍は寒風を吹きちらしています。

ご多忙の中、各事業への参加協力や快く原稿執筆を頂いた方々に、感謝申し上げます。

健康安全、地域繁栄、そして、そして、戦争のない世界平和を祈ります。
広報委員一同

問い合わせ先 NPO法人保原中央自治振興会

住所

保原町字宮下一二一四(保原中央交流館二階)

電話

〇二四一五六三一一三二

FAX

〇二四一五六三一一三七

メール

r-stinkkouka@auroora.ocn.ne.jp